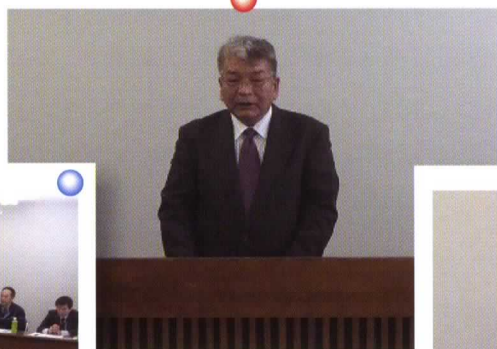


とらいあんぐる

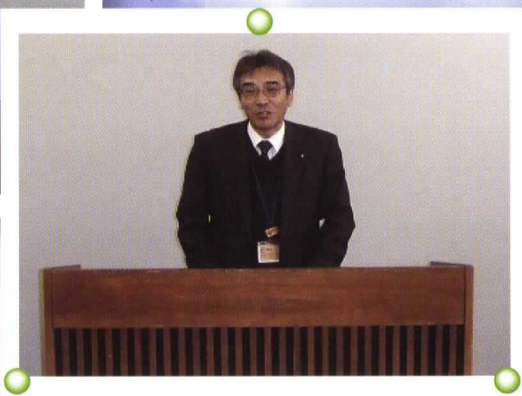
第2回定期総会を開催しました



定期総会の様子



会長挨拶



峯本課長挨拶

日時:平成23年3月15日(火)午後3時～

場所:土地改良会館5階会議室

開催にあたり、会長より本年度の活動内容である『研修会並びに徳島県との意見交換会』、『田園ウオークin那賀川』でのPR活動についての紹介があり、「今後も継続して会員募集を行い、ネットワークのさらなる拡充を図ります。」と挨拶がありました。

続いて、来賓の徳島県農村振興課の峯本課長より、「全国初の取り組みである本『ネットワーク』が、将来の土地改良区を担う希望となることを確信しております。徳島県は今後も活動を支援してまいりますので、土地改良区の体制整備と本県の農業発展のため、なお一層のご尽力をお願いします。」とご挨拶を頂きました。

新役員の紹介

役職	土地改良区名	氏名
会長	日吉土地改良区理事	寺井 良仁
副会長	板名用土地改良区組合員	東條 政博
事務局長	吉野川北岸土地改良区職員	清水 春茂
幹事	昼間足代土地改良区理事	山田 雅洋
幹事	田野芝生土地改良区職員	溝田 育美
幹事	北島土地改良区職員	亀田 幸奈

平成23年3月15日、次世代ネットワークの活動計画として予定していた土地改良区理事長との意見交換会を徳島県土地改良会館5階会議室にて実施しました。

今回は昨年4月に土地改良事業功労として“旭日双光章”を受章され、また全国でも有数の農業用水施設を整備・運営されている中島用水土地改良区の 近藤 操 理事長をお招きし、土地改良区の運営および施設の維持管理についてこれまで苦労されてきた事柄など詳しくお話しいただきました。

大変貴重なお話を
ありがとうございます。
ございました。



- 最も苦労したことは、「水不足対策」「財政難」「水管理合理化」。
- 吉野川の取水口の川床の低下を改良するために県と約5年交渉を続け、河川対策が実現。
- 高齢化による配水夫の減少で円滑な配水に支障をきたしたことから、配水自動管理システムの導入を図り、運営の合理化と維持管理費の節減と財政再建に尽力。
- パイプライン事業による水利施設の完全自動化
- 国営事業導入にともなる新しい水利用にむけた対応

また、そのほかにも「農業における海外と日本の違いや地域特性について」、「今後の農業政策に期待すること」、「農地転用が進む地域の農業展望」など、幅広い事柄について理事長のお考えを時には冗談も交えながら熱心にお話しいただき、参加会員一同、大変興味深く聞かせて頂きました。

地域農業の充実のため、“農業の必要不可欠な水の確保”と“水利施設の合理的運用・管理”についてその時々深く研究し、必要に応じ関係機関とも強い意志を持って粘り強く交渉することにより“土地改良区”の運営および施設整備を行ってこられたことがよくわかりました。近藤理事長のこうした姿勢や取り組みは土地改良区の運営の中心となっていくべき次世代の我々が見習い、引き継いでいくべきであると実感しました。



有意義な
意見交換会に
なりました。





近藤理事長との
意見交換をしましたので、
この機会に
中島用水土地改良区について
紹介します。

中島用水土地改良区の概要

事務所：板野郡藍住町笠木字中野165-8
設立：昭和26年2月23日
地区面積：248ha（藍住町、徳島市応神町）
組合員数：583人（総代：30名）
役員：理事15名、監事4名
職員：2名

中島用水地区は、吉野川支流旧吉野川右岸に接した水田やそ菜園芸が盛んな地域であります。用水源は旧吉野川から中島揚水機によるポンプ揚水であり、中島揚水機、幹線支線水路網及び地区内用水施設は、県営かんがい排水事業中島地区として昭和43年度に着手し、昭和47年度に完成しました。しかし、河川縦横断の変化によって吸水位が低下し、吸水困難となり、これに対処するため昭和54年度から県営かんがい排水事業により中島揚水機の改修と、水管理の合理化、維持管理費の軽減を図るため、自動管理システムの導入を図り昭和62年度に完成しました。

その後、地盤沈下に起因した水路の通水能力低下や地下水の塩水化が進み、地域営農に大きな支障となってきたため、平成4年度から県営地盤沈下対策事業を実施し、自動給水栓を採用したパイプライン化による用水施設の完全自動化を図りました。



旧吉野川からの取水口と中島揚水機場



中島揚水機場と中島加圧揚水機場(手前)



水管理システム



旧水路に管水路を埋設



旧水路に管水路を埋設

はじめまして！新幹事の紹介

3月の定期総会にて役員に選出されました、北島土地改良区の亀田と申します。
このような役をさせて頂くのが初めてで、次世代ネットワーク自体に加入してからの期間も短く、まだ右も左も分からないような状態です。

頼りないかとは思いますが、先輩方にご指導頂き、会員の皆様と共に学ばせてもらい、少しずつでも成長していけたらと思っております。

ご迷惑をお掛けする事も多々あるかと思いますが、頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

平成23年2月21日から22日にかけて、東京都の砂防会館にて「土地改良区合併推進リーダー研修会」が行われ、次世代ネットワークの会員2名が参加しました。研修会は、近年の農業、土地改良区の様々な状況を鑑みて、土地改良区の合併推進の中心となる人材を育成していこうという目的で開催されたものです。

会議の内容は

- 農業農村を取り巻く最近の農業情勢
- 土地改良区の現状と合併協議における課題について
- 土地改良区の合併事例について
- 滞納処分関係について
- 土地改良区における消費税の取扱について
- 土地改良施設の適切な管理について
- 土地改良区の組織運営体制について



研修会の様子

でありました。

現代の農業情勢、土地改良区の現状、滞納処分や税金など法律的なこと、管理運営のことなど幅広い講義がありました。

感想

土地改良区の現状について、資料をもとに全国の土地改良区の統計が詳細に説明されました。主な内容として過去からの土地改良区数の推移、土地改良区の設立解散状況、役職員の状況、賦課金額の状況、土地改良区合併のことなどですが、大小様々な土地改良区が存在し、その内部状況も多岐にわたることが示されておりました。

厳しい運営状況にある土地改良区も少なくはなく、今後の運営方針の一つとして、今回の研修のテーマでもある土地改良区の合併もあるということでした。また、全国的な統計の中で、自分の属する土地改良区の状況はどうなのか考えさせられました。

土地改良施設の管理運営、滞納処分など土地改良区運営の基本の確認から、これからの農業情勢、土地改良区の状況など様々な事柄についての講義がありました。将来的に、多くの問題がありますが、農業、そしてそれを支える土地改良区は非常に重要なものであり、その運営に携わる大切さを再確認できました。また、これからの土地改良区の在り方を考えるきっかけにもなりました。

発行



とくしま水土里ネット次世代ネットワーク 事務局

徳島市伊月町1丁目32番地 徳島県土地改良事業団体連合会内

電話：088-626-3211 FAX：088-655-3399

Mail-address jisedainet@tokudoren.or.jp